

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年1月19日(2023.1.19)

【公開番号】特開2021-108676(P2021-108676A)

【公開日】令和3年8月2日(2021.8.2)

【年通号数】公開・登録公報2021-034

【出願番号】特願2020-10(P2020-10)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 315 A

【手続補正書】

【提出日】令和4年12月29日(2022.12.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

特別図柄の変動表示による特別図柄遊技を実行可能な特別図柄表示手段と、所定の変動パターン選択テーブルに基づき、変動パターンを決定する変動パターン決定手段と、前記変動パターン決定手段により決定された変動パターンに基づき、前記特別図柄遊技を制御する特別図柄表示制御手段と、

大入賞口を開閉可能に構成された特別電動役物と、

装飾図柄の変動表示を含む演出的な装飾図柄遊技により前記特別図柄遊技の結果を報知可能な装飾図柄表示手段と、

前記変動パターンに関連する前記装飾図柄遊技を制御可能な装飾図柄表示制御手段と、を備え、

前記大入賞口を開閉させる当り状態を制御可能な遊技機であって、

前記当り状態を経由することなく移行可能な特定状態を有し、

前記変動パターン決定手段は、

前記当り状態に制御すると決定された場合には第1変動パターン選択テーブルに基づいて変動パターンを決定可能であり、前記特定状態に制御すると決定された場合には前記第1変動パターン選択テーブルとは異なる第2変動パターン選択テーブルに基づいて変動パターンを決定可能に構成され、

前記当り状態に制御される場合、前記装飾図柄遊技の結果として、前記装飾図柄を第1特定表示態様で停止表示し、

前記特定状態に制御される場合、前記装飾図柄遊技の結果として、前記装飾図柄を前記第1特定表示態様とは異なる第2特定表示態様で停止表示する、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

40

50

本発明の上記目的は、下記の手段によって達成される。

特別図柄の変動表示による特別図柄遊技を実行可能な特別図柄表示手段と、所定の変動パターン選択テーブルに基づき、変動パターンを決定する変動パターン決定手段と、

前記変動パターン決定手段により決定された変動パターンに基づき、前記特別図柄遊技を制御する特別図柄表示制御手段と、

大入賞口を開閉可能に構成された特別電動役物と、

装飾図柄の変動表示を含む演出的な装飾図柄遊技により前記特別図柄遊技の結果を報知可能な装飾図柄表示手段と、

前記変動パターンに関連する前記装飾図柄遊技を制御可能な装飾図柄表示制御手段と、を備え、 10

前記大入賞口を開閉させる当り状態を制御可能な遊技機であって、

前記当り状態を経由することなく移行可能な特定状態を有し、

前記変動パターン決定手段は、

前記当り状態に制御すると決定された場合には第1変動パターン選択テーブルに基づいて変動パターンを決定可能であり、前記特定状態に制御すると決定された場合には前記第1変動パターン選択テーブルとは異なる第2変動パターン選択テーブルに基づいて変動パターンを決定可能に構成され、

前記当り状態に制御される場合、前記装飾図柄遊技の結果として、前記装飾図柄を第1特定表示態様で停止表示し、 20

前記特定状態に制御される場合、前記装飾図柄遊技の結果として、前記装飾図柄を前記第1特定表示態様とは異なる第2特定表示態様で停止表示する、

ことを特徴とする遊技機。

20

30

40

50